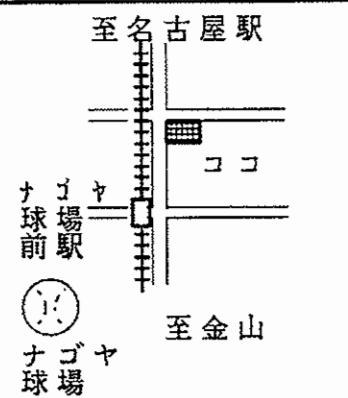


発行日 発行所 新日 TEL 052-331-5356 編集者  
3ヶ月毎1回 名古屋市中川区山王一丁目8-28 FAX 052-331-4010 秋山学



### 新日 創立二〇周年を迎えて

御蔭をもちまして、平成元年十一月六日、(株)新日は創立二〇周年を迎えるに至りました。  
創立以来、幾多の苦難を何とか乗り越えることができて今日に至ったことは、誠に感慨深いものがあります。  
ほんの一昔前までは弊社に限らずこの会社でも同じようなものだと思いますが、日曜出勤は当り前残業時間は長時間を越える者、会社の机の上にはフトンを敷いて寝泊まりし仕事する者まで出現する有様でした。近所の理容店では「新日さんはいつでも事務所の電気が付いていて交代制の仕事をしているのですか」な

どと聞かれたこともありましたが、それでも一歩一歩又一步、世の中の社会経済の変化はもとより、業務のシステム化・コンピュータ化をはじめ新規事業の開拓、技術の向上等月日の経過とともに近年では日祝祭日及び隔週土曜休み、平均残業時間の大幅な減少、各種保険等、福利厚生充実の充実を図ることが出来るに至り、創立二〇年にしてやっと一人前の会社の仲間入りが出来たのではないかと思います。  
現在、従業員八〇名、補償調査・測量・土木設計・区画整理・企画開発・建築設計・不動産鑑定

### ダム建設地となるべく 対象地域は、山里の自然環境に恵まれた地域で、これまで河川は人為的な汚濁のない清流を保っており、この地の住民の生活に欠くことのない恩恵を与え、飲料水等の生活水はもとより、小学生や中学生のアマゴやアユの清流及び清流の釣り場、特に夏期には河川を自然水浴場として利用してきた。

この地域で水浴に供されている水浴場は、水深・流速・河床の状態等安全性を有するとともに部落からは近く利便性にも  
ダム建設地となるべく対象地域は、山里の自然環境に恵まれた地域で、これまで河川は人為的な汚濁のない清流を保っており、この地の住民の生活に欠くことのない恩恵を与え、飲料水等の生活水はもとより、小学生や中学生のアマゴやアユの清流及び清流の釣り場、特に夏期には河川を自然水浴場として利用してきた。  
ダム建設に伴う補償業務に携わる際、豊かな自然、美しい渓流をこのまま残せたらと感傷的になるのは私ばかりではないと思います。(宇田川)

### ゴルフ場の移転問題の補償について

昨今の異常とも思えるゴルフブームには目を眩張るものがあります。確かにあの広大な緑の大地に向かって球を打ち、球を追いかけ歩き回る(走り回る?) というのは、仕事に忙殺されて日々を過ごす現代人にとっては格好のリフレッシュになるでしょう。  
今回の事例はそんなゴルフブームに反映するかどうかはわかりませんが、あるゴルフ場施設(M県、某リゾートゴルフ場)について若干触れたい。まずこのゴルフ場の事例の発端は、計画道路によりクラブハウスはもちろんのこと、要となるゴルフコースがほぼ二分割されることである。そのことから、工法としては構内改造、構外移転の大まかに2案が想定されました。

そしてこの各工法をそれぞれ検討する中で、次のような問題点が出てきました。補償において最初に発想される構内改造については、ショートゴルフ場といえどもアメニティ(景観)を含めたサロンのスポーツ施設であること。それが将来道路で分断されたゴルフ場が現在の集客能力をどれほど維持できるのか、又当ゴルフ場においては県営のゴルフ場開発条例が施行される以前に開設されたことから、いかに現行条例に適合させるか等が問題点として出てきました。  
しかし、補償においては大部分が物理的に計量し得る側面からの損失に重点がおかれています。よって改造に係る費用と改造により発生するであろうと思われる営業規模縮小の額という形で補償内容が構成されました。そして構内改造と比較して出てくるのが、構外移転であり、これとして代替地の確保、代替地を取得し工事着手に至るまでの多大の費用等、通常の物件の移転に比較してかなり難しい問題があります。またこの2案以外にも、最終的な補償の措置として企業者買取(営業廃止)が考えられますが、これは通常の任意移転に関する補償としては安易に採用できるものではありません。  
土地の買取価格については、今回はほとんど触れませんが、ゴルフ場敷地の土地の評価においていろいろ異なる考え方があり簡単には妥当な土地の価額は算出し難いものと思われれます。  
おかげで私は最近、ゴルフコースに出る度にこの補償の事例が頭にちらつき、プレーに集中できなくなりました。(出口)

### 清酒製造業の補償(その一)

秋も深まるにつれて日本酒のうまい季節になりました。酒を飲むことは本酒のうまい季節になり  
民族にみられたといわれ古事記の大蛇退治神話の中にも酒が使われたことが記されており、古くから存在したことが裏付けられています。酒といっても製造工程は複雑で、精米に始まり洗米・浸水・蒸米して麹・酒母をつくり、もろみを仕込み出しますが、もろみも、初添・仲添・留添と三段仕込みとし、仕込み終わったものから熟成を経て压榨し、火入れをしたものを貯蔵し出荷をします。  
この様に手間が非常にかかると共に、作業場所も相当必要です。なお清酒は特級・1級・2級の3規格に分類されていますが、今年の4月より1級・2級の2規格になりました。なお種類についても今までは「特別純米酒」、「大吟醸」、「生酒」等の名称が表示されておりましたが、来春より高級な酒に対して「吟醸酒」、「純米酒」、「本醸造」の三種に特出し、この三種以外は普通酒として用語統一とします。(鶴飼)

### 社員プロフィール 金田 雄裕

昭和三六年生れの二十八歳。名前の雄裕(たけひろ)は正確に呼んでくれる人はほとんどなく、せいぜいユウユウと呼ばれるくらいで残念です。居住地は蒲郡市でJRを利用し通勤していますが、通勤に二時間弱を要します。  
朝はどちらかといえば弱いほうで時々遅刻をしてしまい、そんな時はあまり悪く事務所に入る際身細る思いをしています。  
現在、身長一六八cm、体重八〇kg。学生時代と比べてほとんど変化がなく、自分ながら不思議ですが至って健康そのものです。  
今後は健康に充分注意しつつ体力を活用し、業務に全力を尽くし、技術の向上をめざしていく覚悟です。今後とも御指導のほどよろしくお願い致します。(金田)